

学校だより

第8号

いつも心にあいうえお

令和7年2月7日（金）

発行：那覇尚学院

高等専修学校

文責：初鹿野 修

[○○ 仕事ができる人の心得 ○○]

小山昇著（TBSブリタニカ）

仕事にも、勉強にも、生活にも言えると思います。短い時間で、好きな箇所だけ、チラッとみても、「ん？」と考えさせてくれる本です。一部を紹介します。

【愛】 関心を持つことです

【あいさつ】 コミュニケーションをよくするための、一番重要なことです。挨拶は相手より先に元気よく、明るい声です。相手が立っていたら自分もたって、座っていたらかがんで目線をあわせませす。

【赤信号】 天が与えた好機です。ちょっと立ち止まって、一度、自分の人生を考えるとときです。

【明るい】 虫と同じように人が集まる。物がきれいに見える。防犯上もいい。

【あきらめる】 ありとあらゆる努力をしてもできないときです。すんでしまったことは、よくしないことが大切です。投げてしまうのは最悪です。

【悪影響】 やる気のない人が参加すると、やる気のない波動がほかの人に伝わっていく

【朝の時間】 最も個人差が出ます。自発的に当日の計画・準備をした人が成果を上げる

【焦り】 理想と現実が離れすぎたときにおきます。事の解決を急ぐあまりに生ずるマイナス感情です。悩みの元凶です。原因は準備不足です。

【頭】 フロッピーディスクと同じで容量は誰でも同じです。使えば使うほどよくなるものです。よくならないのは、使用回数が不足しているからです。

【新しい】 組み合わせが変わることです。今日新しいということは、明日一日で古くなるということです。いつでも新しいと思っははいけません。

【後始末】 きちんとできれば一人前です。始めることは誰でもできるが、幕を引くのは並大抵の努力ではできません。中途半端になりやすいものです。

【後で】 実行しないことです。油断することです。そして、期日直前になってしまつて、焦って上手にできません。

本校生徒の現在の状況

1月の出席状況	
出席状況	出席 17
	遅刻 12
出席状況	出停 0
	欠席 1
出席率：94%	

遅刻減っています

子どもは

川は岸のために、流れているのではない。
川のために、岸ができていのである
子どもは、学校のために来ているのではない
子どものために、学校はあるのである

東井義雄 一日一言 いのちの言葉から
致知出版社

いつも上記のことを心において、高等専修学校は保護者とともに学校運営をしています。ご意見がありましたら、いつでもお聴きします。



新年 もちつき会
1.23
ついて、食べて、最高

